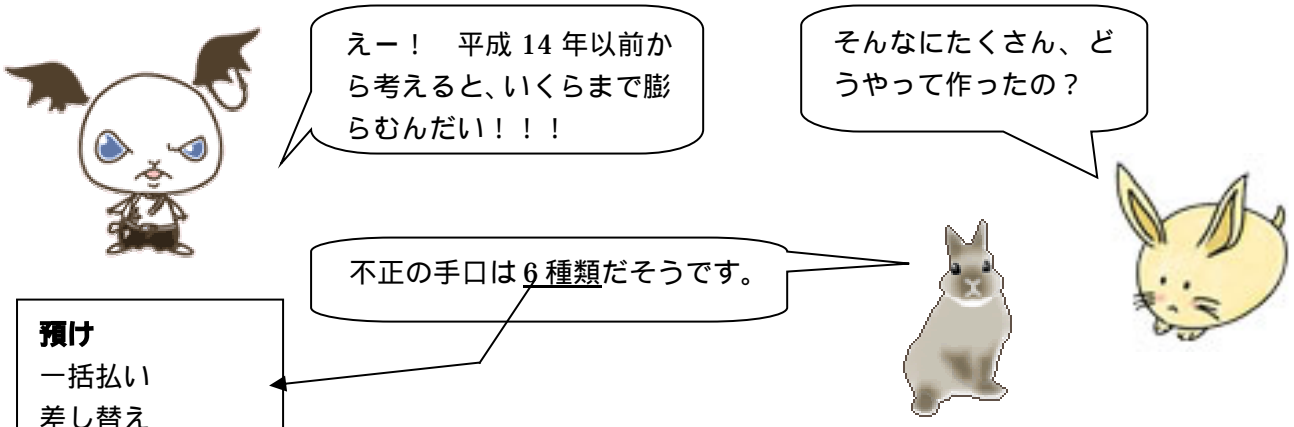


～千葉県庁での不正経理～

9 月定例県議会の閉会日に不正経理問題の原因を究明と再発防止策を検討するために「不正経理調査特別委員会」が設置されましたが、森田知事が『膿は全部出し切る』といわれたように、すっきりしてほしいですね。
不正経理については、平成 15 年～19 年までの **5 年間で約 30 億円**とされています。また、**平成 20 年度も約 8 千万円**の不正経理が確認されています。



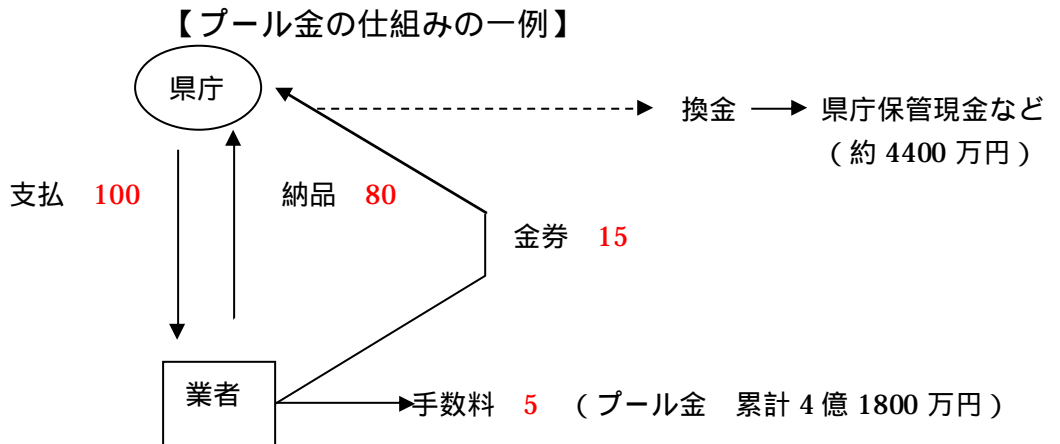

えー！平成 14 年以前から考えると、いくらまで膨らむんだい！！

そんなにたくさん、どうやって作ったの？

不正の手口は 6 種類だそうです。

預け
一括払い
差し替え
先払い
翌年度納入
前年度納入

この中で、預けは県の 262 所属（全部で 401）約 18 億、不正額の 68.4%に及ぶ。この預けの一部が業者に累計してプール金となって管理され（39 社の業者に **4 億 1800 万円**）、一部は県庁内の現金などとなっていたと考えられます。

プール金は、県土整備部は約 2 億 3000 万円、農林水産部は約 1 億 200 万円と 2 部で 79.4%の及んでいます。
このプール金、県民の税金です。赤字県財政には少しでも必要なお金です。ぜひ、回収してほしいです。しかし、この**プール金を運転資金**にしていた業者もあり、すでに、倒産したり、この不景気で**返金できない業者もある**とか。返還できない業者の分も県職員の返還額に上乗せして回収してほしいです。